



名木の後継樹、各地に里帰り ー林木遺伝子銀行110番による樹木の増殖サービスー

ポイント

(1) 茨城県龍ヶ崎市にある県指定天然記念物「龍ヶ崎のシダレザクラ」、(2) 静岡県湖西市にある市指定天然記念物の「諏訪神社のケヤキ」の後継樹の苗木が国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センターから里帰りします。

概要

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター(茨城県日立市)では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保存を図るとともに、これらを品種開発等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請により後継樹を増殖するサービス「林木遺伝子銀行110番」を行っています。今回の里帰りは、このサービスを利用して増殖を要請された(1)茨城県龍ヶ崎市の県指定天然記念物「龍ヶ崎のシダレザクラ」及び(2)静岡県湖西市の市指定天然記念物「諏訪神社のケヤキ」の後継樹の苗木です。

問い合わせ先など

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター

事業責任者：遺伝資源部 探索収集課 課長 織部雄一郎

担当者：探索収集課 遺伝資源収集係長 山口秀太郎

広報担当者：育種企画課 課長補佐 橋本光司

Tel : 0294-39-7002 Fax : 0294-39-7306

本資料は、茨城・静岡の各県政記者クラブ、日立市役所記者クラブ、龍ヶ崎市記者クラブ、湖西市関係報道機関に配布しています。

背景・経緯

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている天然記念物や巨樹・名木等が数多くあります。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けていることから、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れていることが見込まれ、林木遺伝資源として貴重なものです。

このため、森林総合研究所林木育種センターでは、これら巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、所有者等からの要請により、衰弱しているこれら樹木の後継樹の苗木を増殖し、里帰りを行うサービス「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しており、これまでに、全国から 289 件の要請があり、222 件の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを行ってきました。後継樹の苗木は、さし木やつぎ木で増殖したクローンの苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていますので、二代目として大きく成長することが期待されます。

内容

今回里帰りする後継樹は、以下の 2 件の苗木です。

(1) 茨城県龍ケ崎市「龍ケ崎のシダレザクラ」

金剛山観仏寺般若院の本堂裏手にある樹高約 10m、目通り幹囲約 5m、枝張り東西約 15m、南北約 22m に達した枝垂桜（シダレザクラ）の巨樹で、樹齢は約 400 年以上と言われており茨城県の天然記念物に指定されています。

平成 26 年 11 月に後継樹の増殖を依頼され、当センターの温室においてさし木やつぎ木で増殖を実施し、6 本の苗木を育成することができました。このうち 2 本が令和 3 年 2 月 25 日に龍ケ崎市に里帰りし、旧諸岡家住宅煉瓦門及び塀（龍ケ崎市・登録有形文化財）の前において同日 10 時から植樹式が開催されます。

(2) 静岡県湖西市「諏訪神社のケヤキ」

2 千本余の手筒花火が闇夜を彩る奇祭「奉納煙火」で知られている諏訪神社の参道脇にある、樹高約 15m、胸高直径約 178cm に達した樹齢 450 年以上の湖西市指定天然記念物です。この巨樹は、傍らを諏訪神社の近くにある新居中学校の生徒が通り、地域のシンボルにもなっています。

平成 31 年 2 月に樹勢の衰えによる後継樹増殖の依頼を受け、当センターの温室でつぎ木増殖を実施し、6 本の苗木を育成することができました。このうち 3 本が令和 3 年 2 月 27 日 9 時（雨天の場合 28 日）に湖西市に里帰りし、諏訪神社の境内や新居中学校などに植栽されます。



龍ヶ崎のシダレザクラ

写真提供：龍ヶ崎市



「龍ヶ崎のシダレザクラ」の後継樹



諏訪神社のケヤキ

写真提供：湖西市



「諏訪神社のケヤキ」の後継樹